

「知識の構造化・推論過程の組織によるPDCAサイクル」

	計画（P）	実践（D）	評価（C）	改善（A）
授業観	社会事象の概念や理論を発見，習得することを目標とし，科学的探求の方法を用い，学習内容を解釈・発見させる。	単元を構想する段階で，社会を対象とする教材研究を行い，社会諸科学の研究成果を選択する。	知識の構造化，推論過程の組織を評価する。	知識の構造図を見直し，知識の質，知識の領域に応じて，一般化，抽象化の高い説明的知識から個別化，具体化を図るよう改善する。
授業の組織	- 解釈内容（＝知識体系）を「到達目標」として設定し，知識の構造図，問いの構造図をつくる。 - 授業で到達させる説明的知識に対して，問いをつくり，事例に基づき仮説を検証できる授業過程を組織する。	- 研究者が示す一般的・普遍的な理論（解釈）を抽出し，授業者自身の理論（解釈）をつくる。 - 事前に組織，計画した問いの構造，配列に従い，発問，指示を行う。	知識の構造図が作成され，知識の質，領域に応じた構造化が図られているか。	- 理論仮説の導き方を抽出する。 - 学習者自身が対象を分析し総合する過程を明らかにし，問いと回答を導く資料の論理構造を見直し授業の組織を改善する。
授業の具体	- 発問と資料，教授，学習活動，引き出したい知識からなる教授書によって，授業展開を計画し，問いを構造化し，探求を導けるよう配列を決める。 - 学習者の実態や特性を考慮し，補助的な問いから中心的な問いに答えられるよう資料を用意する。	問いと資料からなる学習プリントを用意し，読解させ，まとめさせる。	- 学習者が獲得している知識の質を確認する。 - 一般化，抽象化と個別化，具体化の知的操作を学習者自身が適用できるか確認する。	資料解釈の多様性と推論過程を緻密にし，複数の資料を結びつけ，段階を追って推論できるよう問いと資料を見直す。

峯明秀（2011）：『社会科授業改善の方法論改革研究』風間書房 P. 109 より

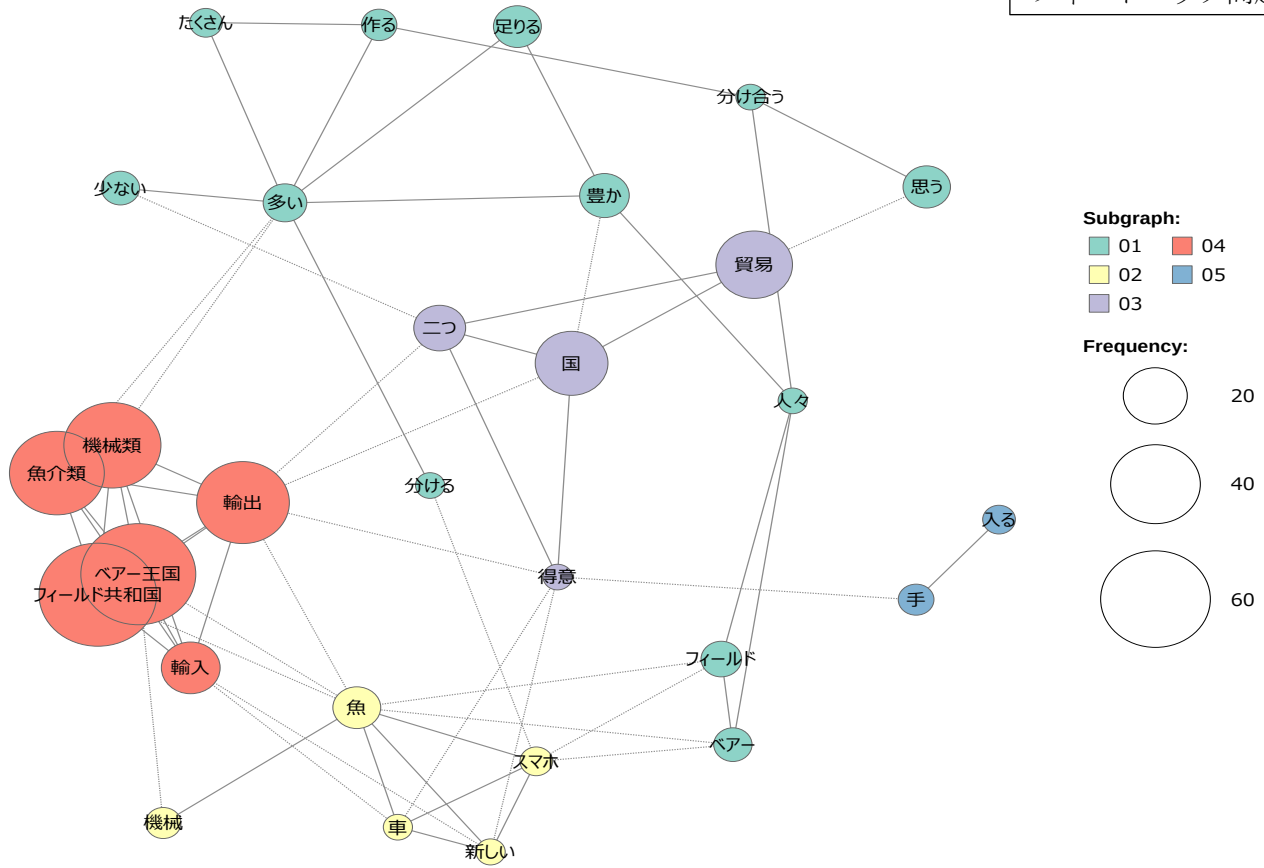
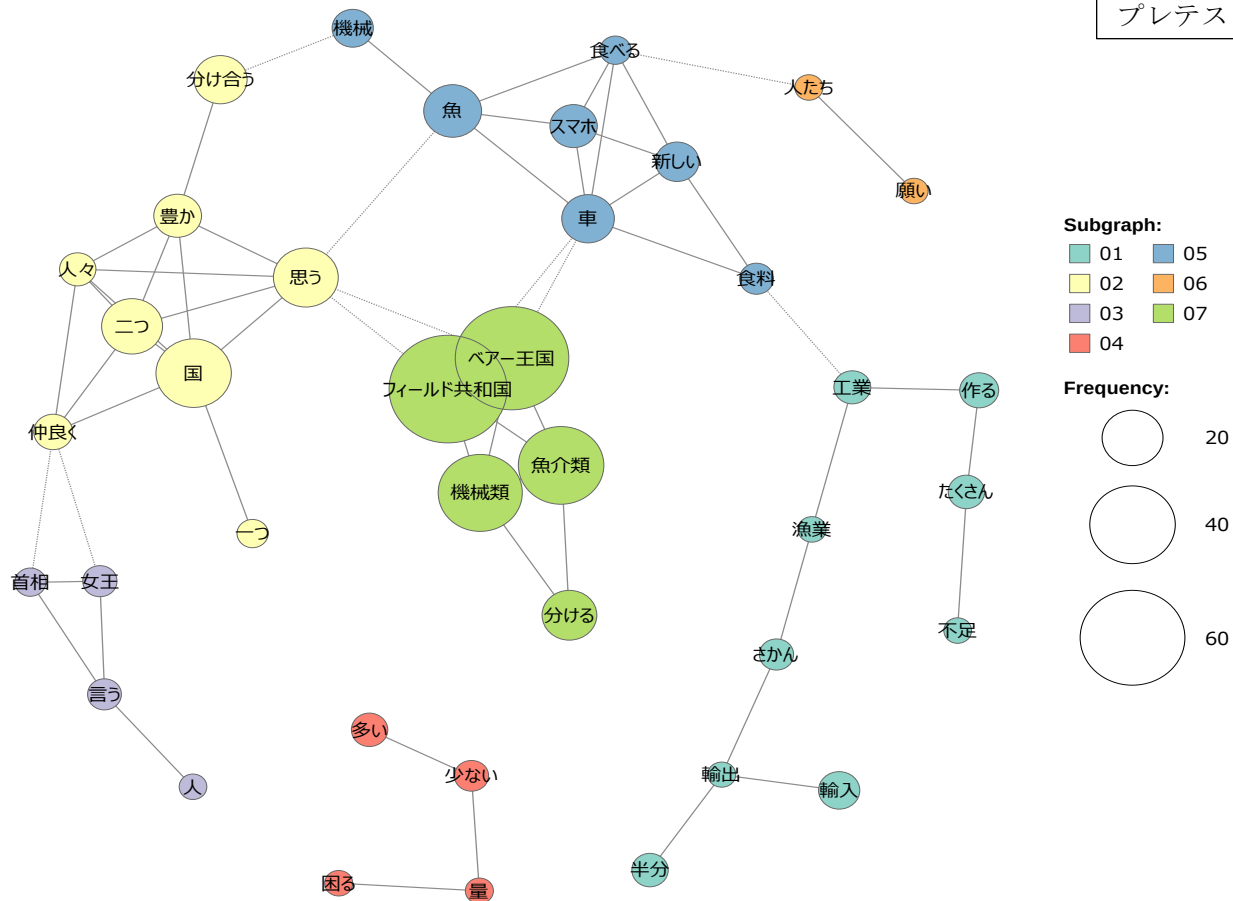


図 6 概念的説明的知識を問う問題への児童の解答の分析結果

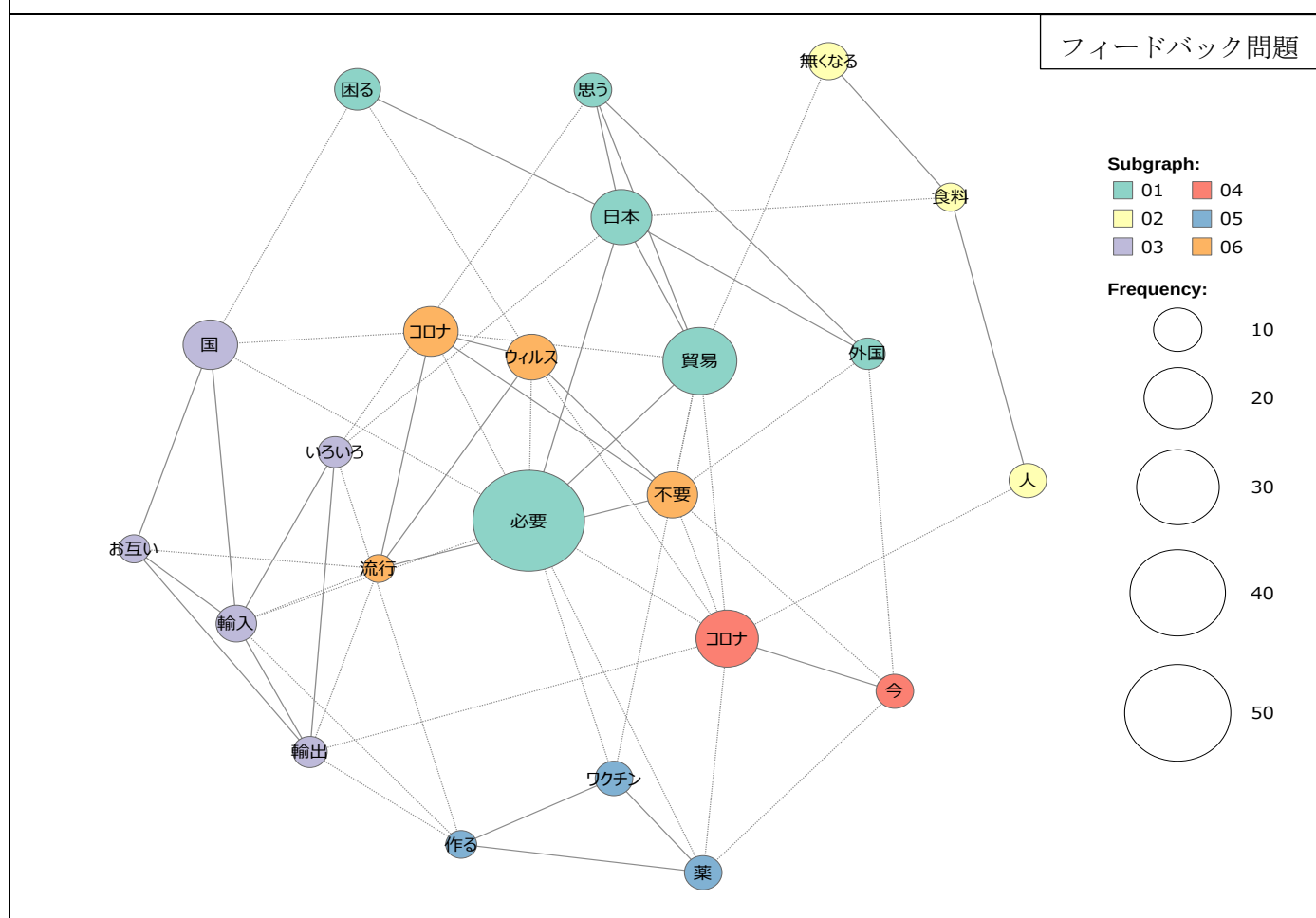
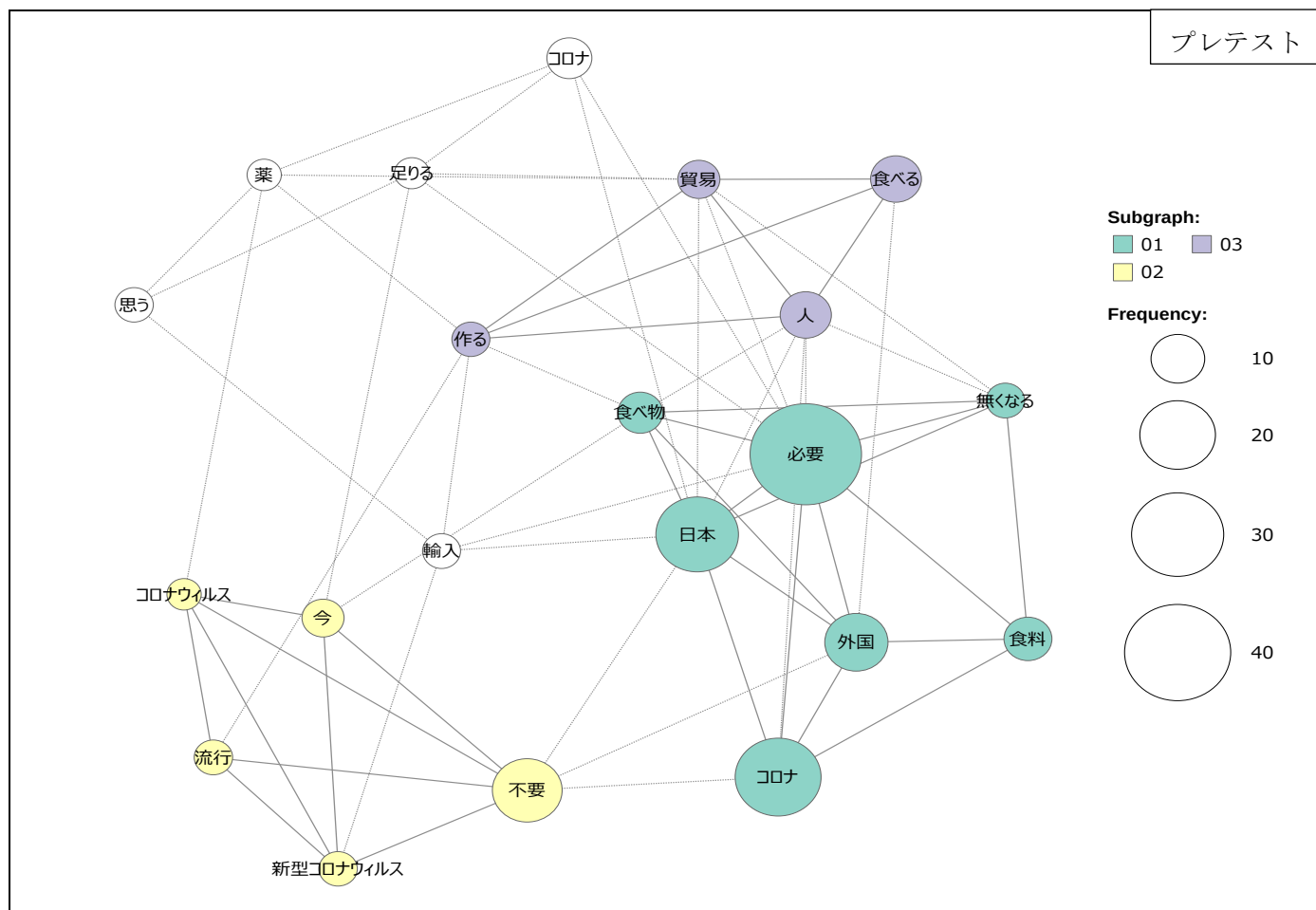


図7 価値判断を意味する知識を問う問題への児童の解答の分析結果

学びのプラン

5 年 組 番()

1. はじめに ～見通しをもって単元の学習にのぞもう～

単元を 貫く 問い

「新型コロナウイルスが流行している今、貿易は必要なのか？」

これから学習していくこと

運輸・貿易（輸出と輸入）

この学習で、身につけたい力

2つのことを比べたり関連づけたりして考える力

○この単元で学習すること

月日	時	身につけたい資質・能力（評価方法）	流れ	学習の内容
	1	・貿易（輸出と輸入）や運輸についての疑問をもとに、学習問題をつくることができる。 （主にノート・学びのプランの記述）	学習問題をつくる。 ↓	プレテスト 学びのプラン ・広島県の〇〇クイズ ・学習問題の作成
	2	・資料から運輸の仕組みを見つけることができる。 （主にノート・学びのプランの記述・ミドルテスト）	運輸について調べる。 ↓	・輸送手段や施設と特ちょう ・交通もう
	3	・輸出について意欲的に調べることができる。 （主に学習の様子・ノート・学びのプランの記述・ミドルテスト）	貿易について調べる。 ↓	・主な輸出品の輸出相手国 ・日本の輸出の変化
	4	・輸入の特色について説明することができる。 （主に発表・ノート・学びのプランの記述・ミドルテスト・ポストテスト）		・主な輸入品の輸入相手国 ・日本の輸入の変化 ・再生可能エネルギー ミドルテスト
	5	・学習問題を解決し、説明することができる。 （主にノート・学びのプランの記述・ポストテスト）	学習問題に答える。	・機械類の輸入 ・輸入の効果と問題点 ・学習問題の答え ポストテスト



2. 単元の学習の途中で

名前()

(11 /) 今日の授業の振り返り・次に学習したいこと	(11 /) 今日授業の振り返り・次に学習したいこと
(11 /) 今日授業の振り返り・次に学習したいこと	(11 /) 今日授業の振り返り・次に学習したいこと

先生や友達より

3. 単元の学習を終えて

単元の学習の振り返り	今後の学習や生活に生かしたいこと 
-------------------	---